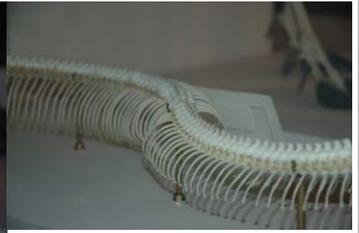
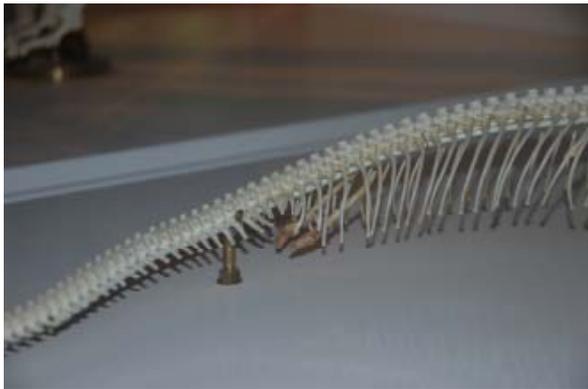


# 動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。は虫類は、生物の進化の過程で「陸上で生活できる」しくみをもった生物であると学習しましたね。ところが、「トカゲ」、「ワニ」、「カメ」、「ヘビ」全然違うと思いませんか。教科書で共通する特徴と学習したことも、例外だらけであることはわかりましたね。さて、今回は、ニシキヘビの秘密です。



は虫類は、4つのなかまがひとまとめにされていますが、ヘビだけ脚がありません。なぜ同じ仲間なのか疑問に持っている人も多いのではありませんか。ところが、その跡を見ることができる種類があります。上の写真は、「動物科学館」の「アミメニシキヘビ」の骨格標本展示です。あいにくですが、「化石展」のため夏休み中は見学できません。

さて、その仲間「ビルマニシキヘビ」が、「ふれあいの時間」に、は虫類館の前に登場します。右の写真のように一般のお客様が平気でさわっています。左端の手がキーパーの「本田」さんです。スタッフの目も行き届き、安全第一です。（事故が無いのも円山動物園のポイントです。）



さて、肝心の「蛇足」の跡、発見できましたか。写真左の指先は「幅崎」です。指の上の方にちょっと小さな白いものが見えます。これが「けづめ」（＝「蛇足」）です。皆さんが見学するときには、右のように「本田」さんが「けづめ」を上手く見せて解説してくれます。同時にさわったときのイメージをレポートしてくださいね。ぬるぬるしていそいそですがぜんぜん違いますよ（有鱗目ヘビ亜目ボア科）



さて、肝心の「蛇足」の跡、発見できましたか。写真左の指先は「幅崎」です。指の上の方にちょっと小さな白いものが見えます。これが「けづめ」（＝「蛇足」）です。皆さんが見学するときには、右のように「本田」さんが「けづめ」を上手く見せて解説してくれます。同時にさわったときのイメージをレポートしてくださいね。ぬるぬるしていそいそですがぜんぜん違いますよ（有鱗目ヘビ亜目ボア科）

## 課題テキスト効果

皆さんのテキストを手をガイドボランティアの皆さんも真剣に取り組んでいます。書き込みがびっしりで、印刷したままのテキストを持っている方はおそらくいないと思います。

ところで学習だけで帰ってしまう人は、もったいないですね。今回のニシキヘビふれあいは不定期ですが、園内放送を聞いたら会場へダッシュですよ。では、また。



**「ペットも家族」**  
動物園のスタッフは、個人的にも動物大好きの方がかりです。自宅でもペットがいっぱいですね。「幅崎」も例外ではなく少しずつペットが増えていきます。特に動物園での仕事で、は虫類の魅力に引き込まれ、ついに「ヘビ」もなかま入りです。元気なときには教材として教室に登場させますので楽しみにしててくださいね。